

2017年4－6月期四半期別GDP速報（1次QE）公表に際しての
茂木経済財政政策担当大臣談話

2017年8月14日（月）

1. 本日公表した2017年4－6月期GDP速報では、実質成長率は6四半期連続のプラスとなり、前期比1.0%、年率に換算すると4.0%となった。これは、2015年1－3月期以来の高い伸びである。

名目成長率は、前期比1.1%、年率に換算すると4.6%となった。また、名目GDPの実額では545兆円となり、過去最高水準となった。

民需の大宗を占める個人消費や設備投資が堅調に増加したことに加え、補正予算の効果もあって公需もプラスの寄与となったことから、内需主導の経済成長となっている。

景気については、ゆるやかな回復基調が続いているとの認識に変わりはない。

2. 先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、経済対策など各種政策の効果もあらわれつつあり、景気はゆるやかに回復していくことが期待される。

（以上）